

# Profile

森 麻衣子 Maiko Mori

3歳からヤマハ音楽教室にてピアノ、作曲を始める。2000年、英国王立音楽大学の奨学金を得て渡英、同大学に入学。在学中、英国で最も権威あるスカラシップであるMBF財団のイアン・フレミング奨学金、マイラ・ヘス・奨学金、その他、San-Ei Gen F.F.I.によるゲン財団奨学金を受賞。学士号、修士号を共に首席で卒業し、ホプキンソン・ゴールドメダルを受賞する。ピアノを柴田千賀子、ベンジャミン・カプラン、アンドリュー・ポール、アンジェイ・エステルハージー、ドミトリー・アレクセーフ各氏に師事する。

2002年に英国プラント国際コンクール（バーミンガム）で第一位を受賞後、RCM交響楽団と、プロコフィエフ・ピアノ協奏曲第3番を、ヴァシリー・ペトレンコの指揮の下で演奏し、協奏曲デビューを果たす。その後三度にわたり、インドにてボンベイ・チェンバー・オーケストラと共演。直近では阪哲朗氏の指揮のもと、立命館大学オーケストラとラフマニノフ・ピアノ協奏曲第3番を、そして第2番を、京都コンサートホール、そして故郷札幌のカナモトホールで演奏した。また、イギリス、カムデン・シンフォニーオーケストラとブラームス・ピアノ協奏曲第2番を演奏し、好評を博す。

イギリスを拠点に、ブリッジウォーター・ホール（バーミンガム）、ウェスト・ロード・ホール（ケンブリッジ）、パーセル・ルーム（ロンドン）など、重要なホールで数々のリサイタルを行う。2011年に、英タブロー・レコードよりCDをリリース。バロックから現代まで、幅広いレパートリーを持ち、特にジャズとクラシックをフュージョンした現代曲の演奏に積極的に取り組んでいる。

室内楽の分野においても意欲的に活動を行い、ピアノ三重奏グループ「トリオ・アクイロン」のピアニストとして活躍、その演奏はイギリスBBCラジオ、ラジオ・フランスで放送された。また、現在は英国チチェスター大学でピアノ講師として後進の指導にも従事している。

2018年からは、国際ピアノコース、「PIANO WEEK」の講師として毎年招待され、レッスン、マスタークラス、コンサートを行う。

森 麻衣子 公式ウェブサイト [www.maiko-mori.com](http://www.maiko-mori.com)



パノス・カラン Panos Karan

21世紀のクラシック音楽界をリードするピアニスト、指揮者、慈善活動家。ギリシャ出身。英国王立音楽院卒業。世界各国のコンサートホールだけでなく、アマゾン河のジャングルへ、コルカタの最貧地域へ、紛争後のシエラレオネの刑務所へ、震災後の東北地方の避難所へと、世界トップレベルの音楽を届けてきた。近年の公演には、ニューヨーク カーネギーホールでの4度のソロリサイタル、ボストンシンフォニーホール、ロンドンクイーンエリザベスホール、東京サントリーホールなどがあげられる。東京オペラシティコンサートホールでは、美智子上皇陛下の御前にて演奏した。

2010年9月、チャリティー団体キーズオブチェンジ Keys of Changeを設立し、世界中の恵まれない環境での生活を強いられる青少年達に、音楽を奏でる喜びを届け、共演する活動を行う。2014年には福島青年管弦楽団 the Fukushima Youth Sinfoniettaを設立した。

「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番」、ロンドンカドガンホールでのリサイタルのライブ録音「ショパン:24の練習曲」の録音をリリースしている。

今まで130か国に渡航し、バルセロナ、プエノスアイレス、アテネ、東京に居住する。現在はロンドン在住。7か国語を自由に操る。

パノス・カラン 公式ウェブサイト [www.panoskaran.com](http://www.panoskaran.com)

【チケット取り扱い】

えぼあホール 011-387-3120

チケットぴあ [<https://t.pia.jp>] Pコード:219-855

【お問い合わせ】 [classicplusconcerts@gmail.com](mailto:classicplusconcerts@gmail.com)

【主催】クラシックプラス・コンサートシリーズ



チケットぴあ  
チケット購入QRコード